

長野の林業

平成27年11月10日発行
長野の林業編集委員会

No.310

もくじ



特集	森林税の活用について……………2
	地方事務所の取組 下伊那/木曽/松本/北安曇 長野/おたりの雑木を活かすための森林フォーラム……………3
トピックス	木曽悠久の森 写真コンテスト……………6
	あづみの再活の松プロジェクト……………7
お知らせ	狩猟解禁……………8
	信州マツタケシンポジウムの開催……………9
県森連だより	……………10
長野県の木材市況	……………12



平成27年11月3日(火)「新幹線飯山駅南口植樹祭」が開催され、ブナ、ユキツバキ、タムシバ等約200本の植樹を行いました。今回の取組は、来春開催される「第45回全国林業後継者大会」のプレイベントでもあることから、県内各地の林業研究グループや林業士等約20名が集まり、みどりの少年団や市民の皆さんと心を込めて植樹を行いました。

健全な森林を次の世代に引き継ぐために

～森林税を活用した取組～

県民の皆様の安全・安心な生活を確保し、森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、平成二十年度から導入された「長野県森林づくり県民税（森林税）」を活用して森林づくりに取り組んでいます。具体的には、水源の涵養や土砂災害防止など、森林の持つ機能の高度発揮を図るため、手入れの遅れた里山の間伐を重点的に行うとともに、平成二十五年度からは間伐材の搬出や利活用など新たな取り組みにより持続的な森林づくりを進めています。

この森林税を財源とした森林づくり推進支援金を活用して、地域固有の森林づくり等の課題に対応するため、市町村が独自性と創意工夫により取り組んでいる活動を紹介します。

森林税を活用した市町村独自の取組

—森林づくり推進支援金—

県内全ての市町村において工夫を凝らした取組を行っています。今回は、暮らしに身近な場所で県産材を活用し、PRしている2町村の取組を紹介します。

◆県産材の木製遊具設置（木曾郡木曾町）

木曾町では、平成二十六年七月に町の教育施設として修復開館した旧帝室林野局（通称 御料館）の木工振興支援室に、子育て世帯を中心に木の温もりを感じながら遊ぶことができる県産材の木製遊具を

整備しました。

七月の開館から平成二十七年八月までに延べ二百人以上の皆様が利用され、リピータも多くご好評いただいています。また、本年度は町民有志による「子育てカフェ」や公民館の木育講座が開催されています。今後も、より多くの方に利用をしてもらえる施設を目指して取り組んでいます。

◆県産材の本棚設置（東筑摩郡朝日村）

朝日村では、平成二十六年に村で生産されたカラマツ材を使い村内の家具職人をお願いして本棚を製作しました。その本棚を地域の森林づくりに関心を持ってもらうために、子どもから大人までが広く利用する朝日村図書館に設置しました。

図書館を利用する方からの評判も良く、本棚をもっと増やしてほしいと多くの利用者からの要望もあり、本年度も本棚を設置して多くの利用者に県産材の木製品の良さをPRします。

【森林政策課】



各地方事務所の取組を、今号と1月号に分けて紹介します。

ホシメジのEYEUP

松川町林研グループでは、昨年林業総合センターを視察した際、ホシメジの人工栽培試験が行われていることを知り、これを松川町でも実践する気運が高まり、去る十月二十五日に林業総合センターの協力を得て座学及び現地での植菌作業を行いました。

喬木村の財産区でも雑きのこの採れる山を作る取組みが行われています。松くい虫の被害が進む中ではありますが、今後も特用林産の増産を目指した山づくりお手伝いを進めて参ります。



表土の除去



座学



コナラの根に培養した菌



不用木除去

【下伊那地方事務所】

木曽川源流の森林づくり ～進む木曽川上下流交流～

一月十七日、木曽川源流の里木祖村こだまの森において、平成二十七年木曽郡植樹祭 木祖村・日進市合同育樹祭が開催されました。好天に恵まれ、秋のさわやかな日差しのもと、郡内外から総勢四百三十名の参加を得て、山を彩るヤマザクラなどの植栽やヒノキの間伐、歩道のチップ撒きに汗を流しました。

今回の郡植樹祭は、来年、長野県で開催される第67回全国植樹祭の応援イベントとしても位置付けられ、式典会場には、横断幕やのぼり旗が設置され、一人ひとりにチラシが手渡されるなど、県民参加の全国植樹祭へと気運が盛り上がりました。

更に、日進市や愛知中部水道企業団の参加者の皆さんは、「平成日進の森林」の整備や素晴らしい天然林で知られる水木沢の散策に参加し、おいしい水や空気を生み出す森林の大切さを五感をもって再認識しているようでした。木曽は、上下流交流が盛んな地域ですが、その交流が一層深まった一日となりました。

御嶽山の噴火から一年が経過しました。皆様からは、様々な支援を頂いております。木曽の山なみも日々美しさを増しておりますので、『つながろう木曽』を合言葉に大勢の方が木曽を訪れていただきますようお願い致します。

【木曽地方事務所】



参加者による植栽(ヤマザクラ等)



式典会場の様子

筑北地域の「シカ行動マップ」を作成中

松本管内の生坂、麻績、筑北のいわゆる筑北地域でのシカ被害は、この一〇年間（平成十五～二十五）で四倍に増加し、農業被害も管内全体の六十三%を占めるまでになってきました。

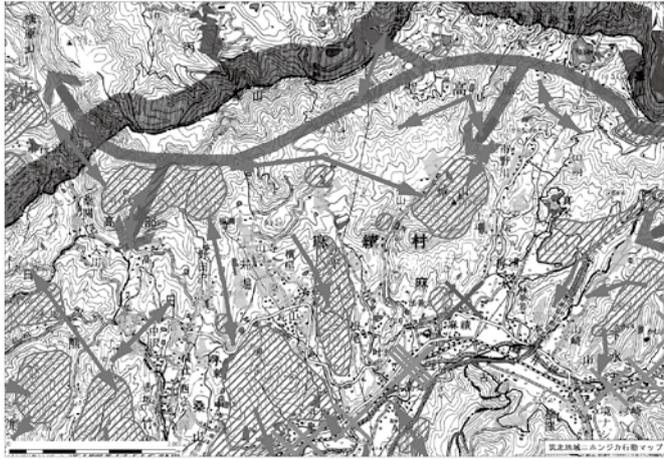
このため、松本地方事務所では、林務課、農政課、地域政策課、農業改良普及センターで構成された「野生鳥獣被害先端地域サポート隊」を発足させ、シカの隠れ家や餌場、行動ルートなどを鳥獣保護員や猟友会員などに聞き取り調査を行いました。

この結果、シカが潜む集落（畑）近くの森林や竹やぶ、そこから夜に畑等に出てきて採餌を行うルート、道路・鉄道を横断している場所、犀川などの大きな河川を泳いで渡る箇所などが分かってきました。

現在は現地調査と取りまじめの段階ですが、増えたシカは長野方面や北アルプス方面へも拡散しているとみられています。

今後は、こうした情報を「ニホンジカ行動マップ」に集約させて、農家の防除に役立ててもらおうとともに、市町村やハンターの皆さんと連携しながら、マク口視点で被害拡大を抑制していくために活用していきます。

【松本地方事務所】



ニホンジカ行動マップ（部分）

子供たちの森林・林業の学びのお手伝い

地方事務所林務課へは、学校等から子供のために森林・林業の体験指導の依頼があります。

大町市の商工会議所青年部からは、八月の大町やまびこ祭りにおける「キッズワークお仕事体験inおおまち」への出展を依頼されました。丸太切りによるコースター製作と大北木材協同組合提供のトチノキプレートによる看板製作を企画し、約二百名の参加を得て、時間終了後も子供が残っているほど出展団体の中で一番人気でした。

白馬南小学校からの依頼では、七月の苗木のスクールステイの事前学習で森林の公益的機能を模型により教えました。また、十月の木崎湖キャンプでは、カリンバや竹コップの製作で「木工道具を使う」という目標で指導しました。教頭先生の「子供の目が変わった」とのお言葉が嬉しかったです。

白馬高校は、昨年引き続き小谷村の炭焼き職人の山本国弥さんを訪ね、アカマツと木炭と刀のつながりを学びました。漫画『KATANNA』の作者かまたきみこさん、刀匠の河内一平さん、林業の黒川彰さんにも来ていただき、それぞれの観点から話していただきました。長野放送のインタヴューを受けた生徒は、「後継者が増えるといいと思いました。」と感想を述べていました。

【北安曇地方事務所】



かまたきみこさん



キリを使って共同作業



頑張って切りました

森林施業プランナー会議実施
 ～素材生産量倍増へ長野森林組合の取組～

長野森林組合では、年間の素材生産量約三万立方メートルを二倍の六万立方メートルへ増やすために、いろいろな取組みをはじめていきます。

そのひとつが、各支所にいる森林施業プランナーを集めての会議開催です。

長野森林組合では、現在、認定見込み者も含めて五人のプランナーが各支所の中堅として活躍しており、彼らが一二月に一度程度、本所へ集まって、今後の森林づくりや素材生産に向け、提案型集約化施業を具体的に進めるための課題やその解決方法などについて議論がされています。

地方事務所の林業普及指導員などもその議論に加えてもらうことが、時々ありますが、彼らの林業に掛ける熱い思いが伝わって来て身が引き締まります。

議論した結果は、プランナー達が各支所に持ち帰って、地元説明会など森林所有者への施業提案の仕方などへ反映され、同席していた他の職員への見本となつていきます。これからも彼らと力を合わせて、地域の林業創生へ取組んでいきたいとあらためて思います。

【長野地方事務所】



提案型集約化施業を实践(地元説明会)



熱い議論が続くプランナー会議

「おたりの雑木を活かすための

森林フォーラム」開催のお知らせ

小谷村の中谷開発委員会では、小谷村の豊富な広葉樹資源の活用を考えていくために、三名の有識者による講演とワークショップを企画しました。下記により開催しますので、是非ふるってご参加ください。

【講演者】

有賀恵一氏／伊那市在住。有賀建具店社長。高校在学中、原生林が毎日伐り倒され伐採されても使い道のない木はチップにされるといふ現状を目の当たりにする。今までムダだと言われてきた木や端材を使い、多種多様な木の個性を生かす製品作りを実施している。平成十五年、卓越技術者知事表彰を受賞。

五十嵐正氏／山形県鶴岡市関川在住。関川しな織協同組合組合長。「シナノキ」、「オオバボダイジュ」または「ノジリボダイジュ」を使った国指定の伝統的工芸品「羽越しな布」の技術・文化を継承しつつ、時代の需要に応える製品の開発を進める。

西谷真理氏／東京都在住。(株)栃本天堂東京営業所勤務。漢方薬・生薬を扱う病院、診療所、薬局などを担当。医薬品に関する情報収集及び情報提供の他、生薬についての勉強会も行う。

【日時】

一日目 平成二十七年十一月二十一日(土)

十三時三十分～十五時三十分 講演

十五時三十分～十六時三十分 パネル・ディスカッション

二日目 平成二十七年十一月二十二日(日) 九時～十二時ワークショップ(予定)

- ① 有賀恵一氏による広葉樹による家具・建具製作について
- ② 五十嵐正氏によるシナノキを利用したしな織作りについて
- ③ 西谷真理氏による野山にある生薬原料について

【会場】

中土観光交流センター「やまつばき」(北安曇郡小谷村大字中土6485番地)

【問い合わせ先】

柴田：0261-8212001(小谷村役場内)

山口：0261-2316522(北安曇地方事務所林務課)

「木曾悠久の森」写真コンテスト

林野庁中部森林管理局

林野庁中部森林管理局では、世界的にも希少で貴重な存在となっている天然のヒノキ、サワラ等の温帯性針葉樹林を「森林生物多様性復元地域(愛称:木曾悠久の森)」に設定し、天然林の保存と、人工林から天然林への復元を図る取組を始めています。

「木曾悠久の森」は、温帯性針葉樹林がまとまって分布するエリアをつなぐ形で長野県上松町、王滝村、大桑村、岐阜県中津川市にわたる国有林に設定しています。その面積はナゴヤドーム約三千五百個分、一万六、五七九haに及びます。

大径の天然木曾ヒノキ林が広く残されているほか、古くは築城や神社・仏閣の用材を供給し、最近では森林浴やキャンプでも楽しまれるなど、人々との関わりの中で息づいてきた「木曾悠久の森」を多くの人に知っていただくために写真コンテストを行いました。

応募のあった九十一点の中から、最優秀賞一点に上松町在住の野田光雄さんの作品が、そのほか優秀賞五点、入選一点が選ばれました。その表彰式が、九月十九日に木曾郡木曾町の木曾文化公園・文化ホールにて開催された「人と生き



表彰状を授与される最優秀賞を受賞した野田さん

ものつながり創生全国フォーラム」で行われました。

表彰式では「ミス日本みどりの女神」も参加し、林野庁中部森林管理局長から表彰状の授与と、木曾観光連盟などの共催団体から副賞が贈呈されました。

表彰式の後、「女房にヒノキ笠をかぶせて先を歩かせたのがよかつたかな」「木曾地域を応援したかったので受賞できてたいへんうれい」などの感想が受賞者からありました。

林野庁中部森林管理局では、「木曾悠久の森」の保存や復元に取り組むとともに、その適切な利用を通じて木曾地域の振興に貢献していくこととしています。また、今後も皆様に「木曾悠久の森」を知っていただくための催しを行ってまいりますので、「木曾悠久の森」をぜひ訪ねてみてください。

最優秀賞「森の散歩道」





市民活動グループ

「あづみの再活の松プロジェクト」が
全国表彰されました。

七月二十一日、東京都コープビルにおいて、平成二十七年全国森林病虫獣害防除協会通常総会に引き続き、森林病虫獣害防除活動優良事例コンクール表彰式が開催され、全国で三団体が受賞されました。

長野県からは、安曇野市内において「松くい虫被害」の周知活動や被害材の有効活用などに取り組んでいる市民活動グループ「あづみの再活の松プロジェクト」が奨励賞を受賞しました。県内での受賞は初めてのことです。

あづみの再活の松プロジェクトは、松くい虫被害の原因である「マツノマダラカミキリ」を捕食するアカゲラの巣箱づくりを通じ、環境学習を実施しながら、市民等に松枯れの現状を周知しています。

また、松枯れ材を含むアカマツ材を有効活用し、被害材による木工作品を制作し、木工教室や展示等によりアカマツの良さを多くの市民の皆さんに伝えていくことが、地域に根付いた活動と評価され、今回の受賞となっています。

あづみの再活の松プロジェクトは、松くい虫被害で枯れてしまったアカマツを、再び活かすという思いから、平成二十三年六月に設立され、現在までにアカゲラの巣箱を市内で約250箱設置しています。木工作品も種類が増え、今年の四月には市内において展示会も開いています。

本年度は、信州の木活用モデル地域支援事業に手を挙げ、アカマツ再活用促進事業として、地域と連携して木工作品等を制作し、皆さんに信州の木をアピールしていく予定です。

【安曇野市農林部】



アカゲラ巣箱設置の様子



アカマツの積木で遊ぶ子供



表彰式



木工教室の様子



展示会の様子



ベンチ設置前のプロジェクトの皆さん

〈長野県林務部鳥獣対策・ジビエ振興室からのお知らせ〉

十一月十五日に今年度の狩猟が解禁になります！

1 狩猟解禁日

平成二十七年十一月十五日(日)

(銃猟については、曆による日の出時刻をもって解禁)

2 狩猟期間

平成二十七年十一月十五日(日)から

平成二十八年二月十五日(月)まで

ただし、ニホンジカとイノシシのわな猟に限り平成二十八年三月十五日

(火)まで狩猟期間を延長します。

3 狩猟場所

県内全域の一般猟区(鳥獣保護区、休猟区等に指定されていない狩猟可能な場所全て)

4 くくりわなの直径規制解除

ニホンジカとイノシシの捕獲を促進するため、十二cm以下に規制されているくくりわなの直径(短径)が次の期間に限り規制解除されます。

※規制解除期間

平成二十七年十二月十五日(火)から

平成二十八年三月十五日(火)まで

5 ニホンジカ捕獲制限緩和

平成二十四年度の狩猟から、ニホンジカ一日の捕獲制限を以下の表のとおり緩和しておりますが、今年度においても同様に緩和いたします。

6 事故防止について

県では、狩猟者に対し、法令やマナーの遵守を指導し、狩猟事故防止の安全啓発を行っておりますが、より一層の安全確保のため、林業者の皆さんが狩猟期間中に森林内に入る際には、事故防止対策として、蛍光色などの目立つ色の服装を心がけてください。

ニホンジカの地域個体群別捕獲制限緩和状況

地域	関東山地 地域個体群	八ヶ岳 地域個体群	南アルプス 地域個体群	その他の 地域
1日の 捕獲頭数	オス1頭まで (わなに限り制限なし)、メス制限なし	オス1頭まで (わなに限り制限なし)、メス制限なし	オス1頭まで (わなに限り制限なし)、メス制限なし	オス制限なし、 メス制限なし

第四回 狩猟免許試験

初心者狩猟免許試験講習会のお知らせ

本年度最後となる第4回の狩猟免許試験を実施します。また、試験内容に即した初心者狩猟免許試験講習会を開催します。

長野県内に住所があり、狩猟免許を取得したいとお考えの方や種別の異なる狩猟免許を取得したい方は、ぜひ受験をご検討ください。

なお、今年度から「網猟免許」及び「わな猟免許」は、免許取得年齢が引き下げられ、満十八歳以上の方から受験が可能です。受験・受講を希望される方は、お近くの地方事務所林務課へ申込みください。

1 試験日程

平成二十八年二月二〇日(土)(会場は左の試験日程を参照)

2 講習会日程

会場により日程が異なります(左の講習会日程を参照)

3 試験・講習会受付期間

平成二十八年一月十八日(月)～一月二十九日(金)

第4回狩猟免許試験日程

回数	月日	会場	時間
第4回	平成28年 2月20日 (土曜日)	佐久合同庁舎	8:30 ~ 17:00
		諏訪合同庁舎	
		飯田合同庁舎	
		松本合同庁舎	
		長野合同庁舎	

初心者狩猟免許試験講習会日程

対象者	月日	会場	時間
第4回 試験受験者対象	平成28年 2月5日 (金曜日)	北信合同庁舎	会場毎に開始及び 終了時間が異なります。 申し込みの際に ご確認ください。
	平成28年 2月10日 (水曜日)	木曾合同庁舎	
	平成28年 2月11日 (木曜日)	大町合同庁舎	
	平成28年 2月13日 (土曜日)	諏訪合同庁舎	
		飯田合同庁舎	
		松本合同庁舎	
平成28年 2月17日 (水曜日)	長野合同庁舎		
	佐久合同庁舎		



信州マツタケシンポジウム

開催のお知らせ

マツタケ生産者等の技術向上に資することを目的に、例年開催しているシンポジウムを本年も次のとおり開催します。

- 日時** 平成二十七年十二月八日(火) 13時30分から16時
- 場所** 長野県林業総合センター 大研修室
- 主催** 長野県特用林産振興会
- 共催** 一般社団法人長野県林業センター
- 後援** 長野県
- 内容**
 - 1 平成二十七年年度の県内マツタケ生産量及び生産振興に関する各地の取組みについて
 - 2 平成27年度マツタケ発生状況について
 - 3 マツタケ増産のてびき改訂Ⅳ版のおもな改訂内容について



お申し込みは、平成二十七年十二月一日(火)までに、長野県特用林産振興会各支部事務局(県地方事務所林務課普及担当係)まで。

長野森林組合 お歳暮のご案内

鬼無里の食品工場で製造した、地元・国産原料を使用し、合成化学調味料など不使用の安全・安心な詰合せはいかがですか。

◆お問合せ

長野森林組合 鬼無里事業所
〒381-4301 長野市鬼無里2552番地
TEL: 026-256-2233
FAX: 026-256-2234



ご飯大好きセット
(他にも各種ございます)

*直送やのし対応も可能ですので、お気軽にお問合せ下さい。



12月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
納市 12月19日(土)	納市 12月16日(水)	納市 12月15日(火)	納市 12月 8日(火)

入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載
※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
 やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村藪原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
 坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

第6回 森林組合交流会開催

10月22日、伊那市の高遠さくらホテルにおいて、第6回森林組合交流会(主催：長野県森林組合長会)が開催されました。

開会の挨拶が上伊那森林組合・伊藤清専務より、主催者挨拶が長野県森林組合長会・林和弘会長より、当番組合挨拶が上伊那森林組合・白鳥孝組合長より行われました。

開会の後は全体会議へ移り、林会長が座長となり議事が進められました。会議では組合長会の経緯、ガバナンス体制や森林整備の低コスト化に関する事項などが話し合われました。

全体会議後は、信州大学学術研究院・植木達人教授より、「地域林業の発展における基礎的視点」と題し講演を行っていただきました。

講演では、戦後から現在に至るまでの財界による提言や報告書、それらに伴う林業施策の変遷について示していただくと共に、現在

の林業の立ち位置、さらに地域林業発展の基礎的な条件について説明いただきました。

翌23日は上伊那森林組合のペレット工場と住宅建築現場の見学



林会長による議事進行



ペレット原料を手にする参加者

が行われました。工場では木質ペレット「ピュア1号」の特徴について説明を受け、工場内で生産される様子を見学しました。

続いて行われた建築現場では、生活スタイルに合わせた増改築が容易なキットハウスの見学を行いました。

全国植樹祭に向けて 飯山駅南口植樹祭開催

北陸新幹線飯山駅南口にて、11月3日(火・祝)10時より、「第67回全国植樹祭」の応援イベント「飯山駅南口植樹祭」(主催：北陸新幹線飯山駅開業イベント実行委員会)が開催されました。当日は300人を上回る市民や関係者の方々が訪れました。

木島平小学校「緑の少年団」によるコカリナ演奏のオープニングセレモニーの後、開会のあいさつが飯山市・足立正則市長より行われ、続いて県議会議員・宮本衛司氏、県植樹祭推進室・河合広室長、全国林業後継者大会長野県実行委員会・田中忠会長らより来賓の挨拶が行われました。



飯山駅前での植樹

開会式後は、駅南口へ地元鍋倉山のブナなどの植樹が行われました。参加者は来年春に向けてしっかりと根付くよう、丹念に植樹を行っていました。

植樹後は間伐材のプランターカバー作成が行われ、多くの地元小学生らが参加し、くぎ打ちに苦戦しながらも丁寧にプランターカバーを作成していました。

新幹線の駅前が森となっていくような所は全国でも見られないとのことなので、今回植樹したブナが大きく育ち、飯山駅前が、乗客が降りたときにホッとされるような安らげる森の駅になればと思います。

アカマツ美林を守るために 防除研修会開催

10月16日(金)、安曇野市もくりゆう館にて、森林病虫獣害防除研修会(主催・長野県林業薬剤防除協会・長野県造林協会・長野県森林組合

連合会ほか)が開催されました。

本研修会は、年々深刻化する松くい虫被害に対し効率的な防除についての知識を得るために開催されており、本年は100名を超える県内林業関係者が研修会に参加されました。

主催者あいさつが長野県薬剤防除協会・田中易会長および同協会・海野晴彦副会長より行われ、続いて来賓あいさつを中部森林管理局計画保全部保全課・池戸健志課長補佐より頂きました。

その後は講演会に移り、「最後のアカマツ美林を守りきるために」と題し、京都大学・二井一禎名誉教授より研修講演をいただき、マツ枯れの感染から枯死へのメカニズムと感染鎖、さらに失敗事例に学ぶ防除の在り方について学びました。二井氏は、予算的制限はあるものの、マツ枯れ防除は広範囲に一斉に実施し、枯死木の徹底的な駆除が必要であると締められました。

続いて、県林務部森林づくり推進課保安林係・松尾一穂担当係長より「松くい虫被害の状況と被害対策について」と題し、県内の被害状況と対策、および秋田県にお



くん蒸処理の実技講習の様子



参加者による質問

けるマツ枯れ防護帯の事例を説明頂きました。秋田県ではゾーニングと海岸線を利用した選択的防除により成果を上げているため、単純に長野県で適用するとはいかなものの、地域の実情に合わせつつ、生物学的な選定によって効果的なゾーニングを模索するのとこのでした。

最後は県林業総合センター育林部・柳澤賢一技師より「伐倒処理の実技講習について」と題し、中信木材センターの土場において、適切なくん蒸処理のための実技講習が行われました。土場では実際に集積した丸太を見本に被覆・くん蒸を行い、適正な薬剤使用方法と、その投入方法の長所・短所について説明頂きました。参加者からは実際の林地における設置のコツや枝条などの処理方法について質問が挙がりました。

実地研修後、閉会の挨拶を本協会・牧司副会長よりいただき、本研修会を終了しました。

この研修により、長野県のマツ枯れ被害が少しでも減少すれば幸いです。

長野県の木材市況

平成二十七年十一月十日発行

長野の林業通巻三一〇号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二二七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

事務局長野の林業普及協会
電話〇二六(二二六)五六一〇
Eメール rinfukyoo@giga.ocn.ne.jp

第962回 市売市況表

(平成27年10月21日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター

Tel 0265-72-2684 Fa x 0265-76-8759

○強気配 - 保合 △弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	気配	備考
ひのき	3.0	直	16~18	19,000	15,000	△	直造材でお願いします。並材引き合いあり。6m材は直材のみ
		直	20上	18,000	15,000	△	
	4.0	直	16~18	16,500	15,000	-	
		直	20~28	17,000	15,000	-	
		元	20~28	23,000	17,000	○	
		曲	14~18	13,000	10,000	-	
6.0	直	18~22	29,200	25,000	○		
	曲	20上	14,000	12,000	-		
栗	3.0~4.0	込	16~34	25,000	15,000	○	
胡桃	2.0~4.0	込	20~30	23,000	16,000	○	広葉樹の太物に高値人気
樺	3.0~4.0	直	46~78	122,000	90,000	○	
桜	3.0~4.0	込	24上	19,000	9,000	○	
からまつ	4.0	直	18~20	13,000	8,000	-	中目直材引き合いあり
		直	20上	14,000	11,000	○	
		曲	14~18	8,000	6,000	-	
あかまつ	4.0	直	20上	11,000	9,000	-	需要期に入る為伐採予定の方はご連絡下さい
		直	18~22	10,000	6,000	△	
		直	24~28	10,000	8,000	△	
すぎ	3.0	直	16~18	10,000	8,000	-	4m中目材に人気。20cm上は4m造材でお願いします。
		直	20上	8,000	6,000	-	
	4.0	直	22~28	14,000	12,000	○	
		元	30上	16,900	13,000	○	
		曲	14~18	6,000	5,000	△	
		曲	20上	8,000	6,000	△	

出品量 1,420 m³ 販売量 1,419 m³ 落札率 99% 買い方 35 社

需要期に入り応札も活発な市売りででした。松はもとより樺の太物に札が集まり高値で落札されました。次回は開設54周年記念市となります。出品は仕分けの都合上11月中旬をめぐりにお願い致します。合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時にはその都度(合法認定番号および合法木材であるコメント)を記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第964回 市売り市況表

(平成27年10月20日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fa x 77-2349

○強気配 - 保合 △弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	-	3.0m×14~18cm 柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	30~40	28,000	12,000	-	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	-	値段機違ひ。
		直	20~28	20,000	13,000	-	
からまつ	4.0	直	36~48	35,000	25,000	-	材不足しています。ご出品をお願いいたします。
		直	6~13	10,000	8,000	-	
		直	14~18	10,000	8,000	-	
		直	20上	13,000	12,000	-	
あかまつ	4.0	直	14~18	8,000	5,000	-	需要期になります。伐採予定であればご連絡ください。
		直	20上	11,000	7,000	-	
		直	18~24	12,000	9,000	-	
くり	2.0~4.0	込	18~40	45,000	12,000	-	
くるみ	4.0	込	18~42	25,000	14,000	-	広葉樹、応札活発。ご出品下さい。
なし	3.0~4.0	込	16~44	32,000	12,000	-	

出品量 4,323 m³ 販売量 3,458 m³ 落札率 80% 買い方 50 社

需要期を迎え応札も活発でしばしば高値がみられる市売となりました。今後も期待できそうです。次回は開設53周年記念市を盛大に開催する予定ですのでより一層のご協力お願いいたします。尚、当連合会は合法木材に取り組みしております。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第995回 市況表【開設57周年記念市】

(平成27年10月22日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fa x 026-295-5547

○強気配 - 保合 △弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m ³)	中値 (円/m ³)	気配	備考		
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	-	直造材で出品願います。需要増加。直造材でお願いします。需要あり。出品願います。出品願います。応札活発 出品願います。直造材で出品願います。		
		直	20上	13,000	10,000	-			
	4.0	込	8~13	5,500	4,500	-			
		直	14~20	12,500	9,600	-			
		直	22~28	13,500	11,000	-			
		直	30上	16,000	11,000	-			
		曲	14~18	6,000	4,000	-			
		曲	20上	11,000	7,000	-			
	からまつ	4.0	込	6~13	11,000	6,000		-	需要増加。無欠点・直造材でお願いします。細物直造材を心がけて下さい。応札活発 出品願います。応札活発 出品願います。
			直	14~18	12,500	8,500		-	
直			20上	17,000	11,000	-			
曲			14~18	5,100	5,000	-			
5.0	直	22上	18,000	13,000	-	需要増加。無欠点・直造材でお願いします。			
		20上	12,500	9,000	-				
ひのき	3.0	直	16~18	15,500	16,500	-			
		直	20上	16,500	16,500	-			
	4.0	直	16~18	17,500	20,000	-			
		直	20~28	22,000	22,000	-			
けやき	2.8	直	112	380,000	-	一本単価			
		直	94	450,000	-				
きはだ	5.6	直	66	600,000	-	一本単価			

出品量 4,607 m³ 販売量 4,586 m³ 落札率 99.5% 買い方 50 社

今回は当センターの開設57周年記念市ということで、多くの良材をご出品いただき、誠にありがとうございました。たくさんのお客様にご来場いただき、大変盛大な市売となりました。スギ・カラマツについては、高値も見られるようになってきておりますので、引き続き出品をお願いします。また、どちらも良材の需要が増えてきておりますので、良材がありましたら積極的に造材をお願いします。広葉樹については、太物に高値が見られました。引き続き、欠点・長級等に注意しながら造材をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメント)を記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第468回 木材共販市況表

(平成27年10月22日実施)

出品量 2,800 m³・買い方 22社・落札率 98.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ	末口径 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考	
ひのき	2.0	直	18~40	25,000	12,000	3,360	
		直	14	9,000	9,000	2,520	
	3.0	元直	16	20,000	17,500	4,900	
			18~22	17,000	15,000	4,200	
		込	24~28	27,500	18,500	5,180	
			16~22	15,000	13,000	3,640	
		中込	24~28	16,000	13,000	3,640	
			30上	30,000	20,000	5,600	
		元	16~22	18,500	16,500	4,620	
			24~28	36,000	28,000	7,840	
		4.0	元	30上	85,000	36,000	10,080
				12~14	11,000	9,000	2,520
6.0	込	16~22	15,000	13,000	3,640		
		24~28	25,500	18,500	5,180		
	直	18~22	24,500	20,000	5,600		
		24~28	25,000	18,000	5,040		
4.0	直	12下	360	300	一本売り		
		16~18	8,500	7,500	2,100		
すぎ	4.0	込	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込	20~22	10,500	8,500	2,380	
	3.0	直	24~28	13,500	12,500	3,500	
		直	30上	21,500	14,000	3,920	
	3.0	直	18~22	8,000	7,500	2,100	
			24~32	8,000	7,500	2,100	
からまつ	3.0	直	14~22	5,000	4,500	1,260	
		直	12~14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	込	16	6,000	5,000	1,400	
		込	18~28	11,500	8,500	2,380	
	4.0	直	30上	12,500	8,500	2,380	
			小曲り	14~30	5,000	3,500	980
	4.0	直	12下	400	300	一本売り	
			30上	10,200	10,000	2,800	
	あかまつ	4.0	直	40上	11,200	11,000	3,080
			40上	11,200	11,000	3,080	

10月に入り出荷量増加。ひのき、出荷量増加、良材出荷に際しては、やや単価上昇。すぎは、太物に引き合いあり、価格はやや上昇。からまつは、出荷量増加やや価格上昇。出荷協力いただき、ありがとうございました。引き続き丁寧な造材を心がけてください。